



2025 年度 冬期講習会

高校準備講座

新・高1 英語総合 SA

ゼロから始める

高校英文法

生徒氏名 [ ]

担当講師 [ ]

# 第1章 品詞・文型

## ポイント① 品詞

### ●品詞を理解する

冠詞 / 名詞 / 代名詞 / 動詞 / 助動詞 / 形容詞 / 副詞 / 前置詞 / 接続詞 / 間投詞

### 基本 4 品詞

- ① 名詞
- ② 動詞
- ③ 形容詞 : [                    ] を説明する
- ④ 副詞 : 名詞以外を説明する(動詞、形容詞、副詞)

### その他の主要な品詞

- ⑤ 代名詞 : 前に出てきた名詞の代わり
- ⑥ 助動詞 : 気持ち(感情)を表す
- ⑦ 冠詞 : 名詞の前に置く
- ⑧ 前置詞 : 後ろに名詞を置く
- ⑨ 接続詞 : 文と文、語句と語句をつなぐ

### ●基本用語を理解する

句 : 2 語以上からなり、内部に SV がない(名詞句、形容詞句、副詞句)

Ex) the tall man (名詞句)

※前置詞句は形容詞句、もしくは副詞句になる

Ex) the boy in the park (形容詞句) ・ the boy(名詞)を修飾

Ex) We play baseball in the park. (副詞句) ・ play(動詞)を修飾

節 : 2 語以上からなり、内部に SV があるもの (名詞節、形容詞節、副詞節)

## ポイント② 文型

### ●基本 5 文型

第 1 文型：SV(M)

第 2 文型：SVC

第 3 文型：SVO

第 4 文型：SVOO

第 5 文型：SVOC

### ●文の要素(英文を構成する要素)

S = 主語 「～は・が」

V = 動詞 「～する」

O = 目的語 「～を・に」

C = 補語(主語や目的語を説明)

M = 修飾語

### 主語

・主語になるのは[ ]のみ！！

### 動詞

他動詞：

自動詞：

☆自動詞と他動詞の見分け方☆

### 目的語

・目的語になるのは[ ]のみ！！

・「～を」、「～に」にあたる部分

### 補語

・補語になるのは名詞・形容詞

・第 2 文型では S を説明、第 5 文型では O を説明する

### 修飾語

・文の中になくても良い要素(主に副詞、前置詞句)

## 第1文型(SVM)

• She is dancing.

S V

• He ran every morning.

S V M

• I walk in the park.

S V M

• She lives in Tokyo with her family.

S V M M

●M を正しく理解する

M は文の要素にならない=オマケ

① 前置詞+名詞のカタマリ

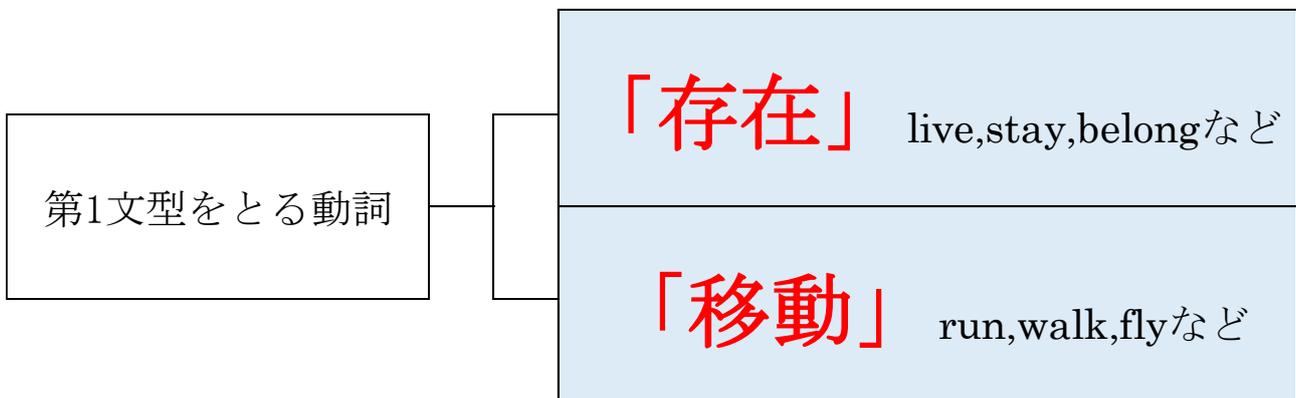
② 副詞

・ -ly系 : quietly, happily など

・ 「時」系 : today, yesterday, every Sunday, ten years ago など

・ 「頻度」系 : always, usually など

●第1文型をとる動詞



Ex) The train made for the next station.

## 第2文型(SVC)

He became a teacher.

S V C

Your dress looks nice.

S V C

- 第2文型をとる動詞

第2文型をとる動詞

「感覚」 look,feelなど

「変化」 become,getなど

☆第2文型の特徴☆

**S = C**

## 第3文型(SVO)

He gave a new watch to him.

S V O M

I made dinner for her.

S V O M

☆第3文型の特徴☆

**S ≠ O**

## 第4文型(SVOO)

I gave him a new watch.

S V O O

He taught us English.

S V O O

I told her the news.

SV O O

### ☆第4文型の特徴☆

「O<sub>1</sub>(人)に O<sub>2</sub>(物)を **与える**」

⇒teach は「知識」を **与える** = 「教える」

tell は「情報」を **与える** = 「伝える」ということ

## 第5文型(SVOC)

The news made me happy.

S V O C

You'll find his brother cool.

S V O C

She keeps her desk clean.

S V O C

### ☆第5文型の特徴

**O = C**

・第5文型をとる動詞の代表例

make O C	OをCにする	name O C	OをCと名付ける
find O C	OがCだと分かる	call O C	OをCと呼ぶ
keep / leave O C	OをCにしておく	think O C	OをCだと思う



# 第2章 時制

## Lesson ① 現在形・進行形



### ●現在形

#### ① 不変の真理

The sun rises in the east. 太陽は東からのぼる。

#### ② 現在の習慣

I always walk to the station. 私はいつも駅まで歩いていく。

#### ③ 現在の状態

He likes riding a bike. 彼は自転車に乗るのが好きだ。

### ☆現在形の Core☆

• The sun rises in the east. 「太陽は(昨日も今日も明日も)東からのぼる。」

• I always walk to the station. 「私はいつも(昨日も今日も明日も)駅まで歩いていく。」

• He likes riding a bike. 「彼は(昨日も今日も明日も)自転車に乗るのが好きだ。」

Ex) What do you do ?

### サブ(発展)

• 確定した未来：100%決まっている旅行のスケジュールや時刻表など

Ex) Our flight leaves at 11:45.

## ☆進行形の Core☆

### サブ(発展)

- ・一時性：「一時的に～している最中」
- ・近い未来：すでにその動作(行為)が進行しているぐらい近い未来  
Ex) The President is visiting Japan next week.
- ・非難：「いつも～してばかりいる」  
Ex) He is **always** watching TV.

### 重要

- ・進行形にしない動詞

live 「住んでいる」	belong to 「属している」	resemble 「似ている」
have 「持っている」	own 「持っている」	hear 「聞こえる」
see 「見える」	like 「好む」	love 「好む」
want 「望む」	know 「知っている」	believe 「信じている」
		etc...

- 判別方法

状態動詞は進行形にしない。



☆進行形にしない動詞は **5秒ルール**！！

# 第2章 時制

完了形は「訳」ではなく  
「イメージ」でとらえることが大事！！

## Lesson ② 完了形

### ポイント① 現在完了形

Q: 「私はカギをなくした」 正しいのはどっち？

I lost my key. vs I have lost my key.

### 復習

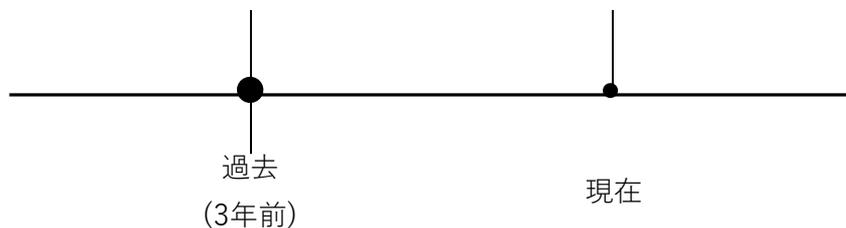
過去形:

Ex) I lived in Tokyo 3 years ago.

Q: この人は今どこに住んでる？

### 過去形

I lived in Tokyo 3 years ago.



### 現在完了形

### ☆現在完了形の Core☆



I have lived in Tokyo for 3 years.



●完了形の三用法

- ・継続用法 「(ずっと)~している」
- ・経験用法 「~したことがある」
- ・完了用法 「~したところだ」

「過去」から「現在」のイメージ  
さえ持っておけば実はこの  
3つの区別はたいして重要じ  
ゃないんです



## 継続用法

●頻出表現

since : 「~以来(ずっと)」

for : 「~の間」

基本例文

I **have known** Paul **since** we were children.

子どものころからポールとは知り合いだ。

We **have lived** in this house **for** 20 years.

私たちは1992年からこの家に住んでいます。

## 経験用法

●頻出表現

once 「1回」 twice 「2回」 ~times 「~回」

ever 「これまでに」 ※疑問文で

never 「一度も~ない」

基本例文

I have visited London twice.

私は2度、ロンドンを訪れたことがある。

Have you ever climbed Mt. Fuji?

今までに富士山に登ったことがありますか。

Q : AさんとBさんのちがいは？

A : I saw the movie twice last week.

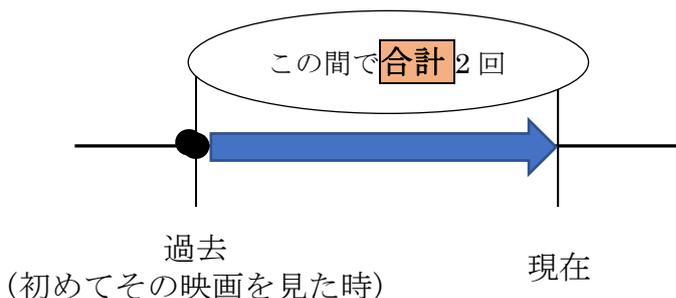
B : I have seen the movie twice.

A : I saw the movie twice last week.



この文から分かる情報は「『先週』その映画を2回見た」というだけ。ということは先週から今の間でその映画を見たかどうかは分からないし、さらに、先週より前にその映画を見たことがあるかどうか分からない。Aさんがこの映画を見た合計の回数は分からない！

B : I have seen the movie twice.



現在完了は過去から現在までの幅なので、過去(初めてその映画を見た時)から今までの合計で2回その映画を見た、ということ！

## 完了用法

### ●頻出表現

just 「ちょうど」 already 「すでに」

yet (否定文) 「まだ～ない」 (疑問文) 「もう～しましたか」

### 基本例文

I **have already spent** all my money.

もうお金を全部使ってしまったんです。

Henry **has just finished** his homework.

ヘンリーはちょうど宿題をやり終えたところです。

Q : この2つのちがいは？

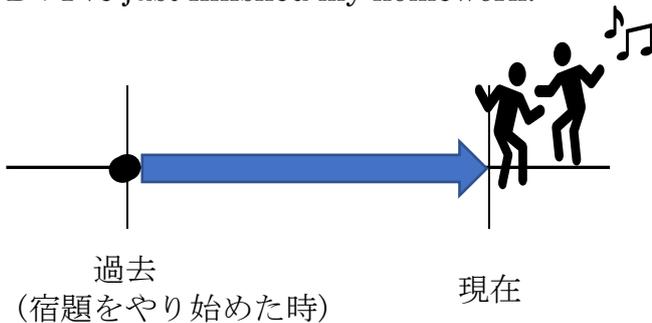
A : I finished my homework yesterday.

B : I've just finished my homework.



「今」とのつながりを持つかどうか

B : I've just finished my homework.

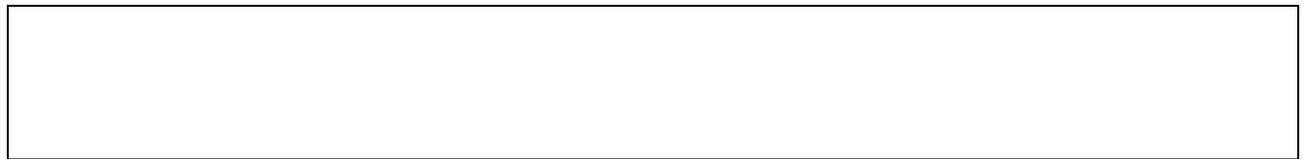


現在完了は「今」に重点を置く  
ので、「今」まさに宿題が終わっ  
て解放されたイメージ

## ポイント② 過去完了形

### 過去完了形(had p.p.)

#### ☆過去完了形の Core☆



#### ・基本例文

The man **had run** away when the police **arrived**.

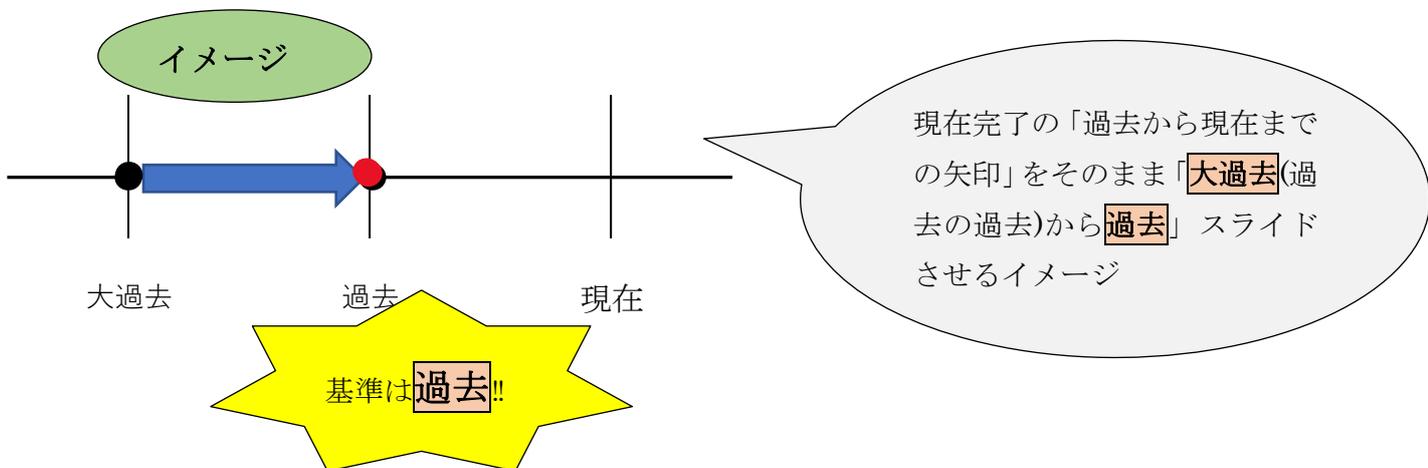
警察が駆けつけた時には、すでにその男は逃げてしまっていた。

I **had never spoken** to a foreigner before I **entered** college.

大学に入るまで、私は1度も外国人と話したことがなかった。

They **had known** each other for ten years when they **got married**.

彼らが結婚した時、知り合ってから10年になっていた。

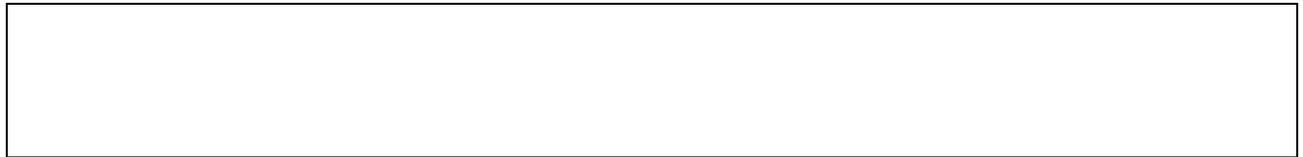


現在完了同様、継続・経験・完了の用法がありますが、やはり過去完了も区別を意識する必要はありません。「過去の1点より前に起こった出来事は had p.p. とイメージすれば OK です。

ポイント③ 未来完了形

未来完了形(will have p.p.)

☆未来完了形の Core☆



・基本例文

These leaves **will have turned** red **by next month.**

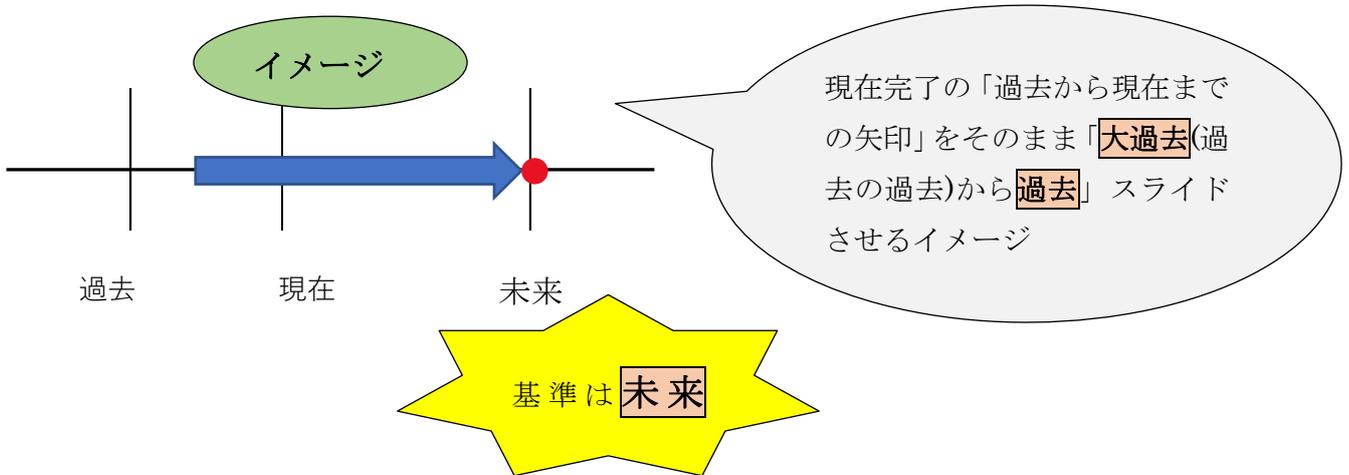
来月にはこれらの葉は赤く色づいているだろう。

I **will have seen** the musical three times **if I see it again.**

もう 1 回見たら、私はそのミュージカルを 3 回見たことになる。

Next month we **will have been married** **for twenty years.**

来月で私たちは結婚して 20 年になります。



Q : 2 つのちがいは？

A : I will finish the work tomorrow.

B : I will have finished the work by tomorrow. ※by ~ 「～までに」



未来形と未来完了のちがいは、過去形と現在完了のちがいをイメージすれば OK

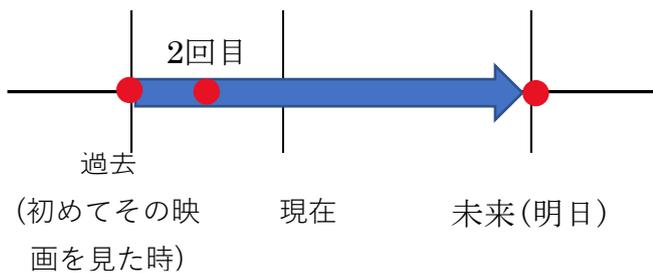
Aは未来形なので現在(過去)とのつながりを持ちません。つまり the work が終わるのは「明日」という未来の1点でしかないのです。

それに対しBは未来までの幅を表します。ここで言う幅というのは「今日を含む」ということです。つまり「今日」 the work が終了する可能性もあるのです。

Q : 2つのちがいは？

A : I will see the movie three times tomorrow.

B : I will have seen the movie three times if I see it again tomorrow.



Bから分かるのは「明日」その映画を3回見る、というだけ。この人がその映画を過去に見たことがあるかどうかは分からない。

それに対してAは「幅」があるので明日見たら**合計**で3回見たことになるということ。

# 第2章 時制

## Lesson ③ 時と条件の副詞節

### 時制の最重要ルール

#### 復習

節とは…? ⇒

節を作る品詞は? ⇒

#### ● 「時」の従属接続詞

when 「～するとき」	while 「～する間」
before 「～する前に」	after 「～する後に」
till / until 「～までずっと」	since 「～から今まで」
as soon as 「～するとすぐに」	by the time 「～するまでには」
every time / each time / any time 「～するときはいつでも」	

#### ● 「条件」の従属接続詞

if 「もし～なら」	unless 「～でないかぎり」
once 「いったん～すれば」	in case 「～するといけないから」
as long as / so long as 「～するかぎり」	
as far as / so far as 「～するかぎり」	

Ex)

• **If** it **is** fine tomorrow, we will have a picnic.  
現在形                      未来                      未来

• **When** she **comes**, he will be happy.  
現在形                      未来



## when/if の訳し方

when/if は副詞節か名詞節かで訳し方が異なります。

### ・ when

副詞節：「もし～なら」

名詞節：「～かどうか」

### ・ if

副詞節：「～する時」

名詞節：「いつ～するか」

## 発展編

when/if の副詞節中で**未来完了形**を使うべき場面では**現在完了形**になる

## ちなみに…

非常にめんどくさそうな「時と条件の副詞節」のルールですが、ややこしいのは **when/if** だけです。なぜなら副詞節と名詞節の両方を作るのは **when/if** だけだからです。そのほかの接続詞は**副詞節**しか作りません。



# 第3章 態

## ポイント① 受動態の超基本

### 受動態の形

[受動態の作り方]

- ① 元の文の目的語を主語の位置に
- ② 動詞を **be 動詞 + p.p.** に
- ③ 元の文の主語を by 以下に

Ex) Ken broke the window.

S          V                  O

⇒ The window was stolen by Ken.

S

### by ~ について

受動態は by ~ 「~によって」までセットであるかのように習いますが、実は by 以下はカットされることが多いのです。

どういう時に by はカットされる？

- ① 「特定の誰か」がない場合

Ex) Beautiful flowers are sold at that store.

⇒花屋で花を売っているのは「店員さん」

- ② by 以下が明らかである場合

Ex) English was taught in the class.

⇒そのクラスで英語を教えたのは当然「先生」

## 受動態の訳し方

受動態の訳は「れる・られる」



☆受動態の文を「～れる(られる)」で訳すことができるのは

① と ② を表す時!!

⇒それ以外は能動で訳して OK

Ex) Stars can be seen at night.

× 「夜、星が見られる。」

○ 「夜、星が見える。」

## ポイント② 第4文型・第5文型の受動態

### ●第4文型(SVOO)

My father gave me a camera.

S V O O

① I was given a camera by my father.

My father gave me a camera.

S V O O

② A camera was given to me by my father.

### ●第5文型(SVOC)

My friends call me Ken.

S V O C

I am called Ken by my friends.

何文型であろうが、受動態の形というのは **O⇒S** にするというだけなので、第4文型は O が 2 つなので、当然受動態も 2 パターン

### ポイント③ 色々な受動態

#### ●助動詞＋受動態

《形》

Ex) We will see a full moon this evening. 「今晚満月が見えるだろう。」

⇒ A full moon ( ) this evening by us.

#### ●完了形＋受動態

《形》

Ex) Someone has stolen my bag.

「誰かが私のカバンを盗んだ。」

⇒ My bag ( ) by someone.

#### ●進行形＋受動態

《形》

Ex) They are constructing the bridge.

「人々は橋を建築している最中だ。」

⇒ The bridge ( ) by them.

#### ☆使役 V / 知覚 V＋受動態

《形》

Ex) My mother made me clean the room.

⇒ I ( ) the room by my mother.

### ポイント④ 熟語、群動詞

#### ●受動態が狙われる熟語、群動詞

laugh at ～ 「～を笑う」 run over ～ 「(車が)～をひく」

speak to ～ 「～に話しかける」 cut down ～ 「～を切り倒す」

deal with ～ 「～を処理する」 look up to ～ 「～を尊敬する」

speak ill of ～ 「～の悪口を言う」

look after ～ / take care of ～ 「～を世話する」

上記のような動詞は2語以上で1つの動詞とみなすので、受動態にする時もまとめて受動態にします。

Ex) My teacher spoke to me yesterday.

⇒ I was spoken to by my teacher yesterday.

### ポイント⑤ by 以外の受動態

一部、例外的に by 以外の前置詞を用いる受動態があります。

#### ●by 以外の前置詞を用いる受動態

be known to ~ 「 be known for ~ 「 be known as ~ 「 be known by ~ 「	」 」 」 」	be made of ~ 「~から作られる」 be made from ~ 「~から作られる」 be made into ~ 「 」
be covered with ~ 「 be killed in ~ 「 be pleased with ~ 「 be satisfied with ~ 「	」 」 」 」	など

### ポイント⑥ It is said that ~

#### ● They say [believe] that ... の受動態

形式主語の It

⇒ **It** is said [believed] that ... : ...だと言われて [信じられて] いる

・彼は才能のあるサッカー選手だと言われている。

They say that he is a talented soccer player.

⇒ It is said that he is a talented soccer player (by them).

#### ☆この型をとる動詞

say, believe, think, know など

・ It is said [believed, thought, known] that ...

... だと言われている [信じられている, 考えられている, 知られている]

## ☆受動態の Core☆

そもそもなぜ受動態を使う？



① S を言いたくない(言う必要がない)

- ・ S が明らか      Ex) Beautiful flowers are sold at that store. ※Sは「店員」
- ・ S を隠す      Ex) It is thought that ~ .
- ・ S が不明      Ex) He was killed in the war.

② S ⇔ O の位置を変えたい

- ・ S が新情報(S を文末へ移動して, “by S” で強調したい)

### 発展

語順に関して

Ex) Tom broke the desk.

⇒The desk was broken by Tom.

### 日本語

- (1) 私は太郎にその本を渡した。
- (2) 私はその本を太郎に渡した。
- (3) その本を太郎に私が渡した。

# 第4章 助動詞

## ☆助動詞の Core☆

助動詞は話しての気持ちを表す(主観的)

絶対ルール

助動詞の後ろは必ず動詞の原形

ポイント① 基本助動詞

**will**

強い意志(100%)

☆① 《意志》 「～するつもりだ」

② 《未来》 「～だろう」

③ 《習慣》 「～なものだ」

Ex) Accidents will happen. 「事故は起こるものだ」

**would**(will の過去形)

●否定文(過去の拒絶)

**wouldn't** 「どうしても～しようとしなかった」

●過去の習慣

**would often** 「よく～したものだ」

助動詞 would があるので主観的=過去を回想するイメージ

Ex) My grandfather would often take me to the zoo on weekends.

「祖父は週末に私をよく動物園に連れていってくれたものでした。」

☆would often VS used to ～

**used to** ～ 「(以前は)～だった」

現在との対比

Ex) There used to be a post office on this corner.

「以前、この角に郵便局があった(今はない)。」

●過去から見た未来/時制の一致

Ex) She was still too young, but she would marry him.

「彼女はまだ若すぎたが、彼と結婚すると言ってきかなかった。」

Ex) He said that he would go to Japan.

「彼は日本に行くつもりだと言った。」

can

いつでも起こる

- ① 「～できる」
- ② 「～してもよい」
- ☆③ 「                      」 → cannot(can't) 「                      」

could (can の過去形)

ひょっとしたら…

●婉曲

Ex) She could be in the park.

「(ひょっとしたら)彼女は公園にいるかもしれない」

※訳が現在になることが注意

③の「ありえる」が  
弱くなったイメージ

助動詞の過去形 = **過去**ではない！  
 助動詞の過去形を見たら **仮定法**をイメージ  
 ※詳しくは仮定法編で！

☆be able to ~ 「～することが出来る」

?



be able to と  
can(could)は一緒？

?

●現在の能力を表す場合は can でも be able to でも OK



過去形になったときは要注意！

ポイントは **1回きりのことかどうか**

Ex) I was able to swim back to the beach.

「そのビーチまで泳いで戻ることができた。」

実際にその時に 出来た(達成した)

Ex) He could speak three languages when he was five.

「彼は5歳の時に3ヶ国語話せた。」

過去の**能力**

could については仮定法の回を楽しみにして  
いてください。世界が変わりますよ。



● need の用法

	肯定文	否定文	疑問文
動詞	need to ~		
助動詞	need + 原形 V		

● should 系

should ≤ ought to < had better 「~した方がよい」

**否定形**

- should →
- ought to →
- had better →

**not の位置に注意!!**

ポイント② 慣用表現

● can の慣用表現

- cannot ~ too ... 「...してもしすぎることはない」

Ex) You cannot be too careful when you drive a car.  
 「車を運転するときに注意してもしすぎることはない。」

- cannot help ~ing 「~せざるをえない」

Ex) You cannot help laughing at his story. 「あなたは彼の話に笑わざるをえない。」

● may(might) の慣用表現

- **may well do** 「~するのはもつともだ / きっと~だろう」

Ex) You may well say so.  
 「あなたがそう言うのももつともだ。」

- **may as well do** 「~してもよいだろう」

Ex) I may as well walk.  
 「歩いて行ってもいいだろう」

- **might(may) as well A as B** 「B するのは A するようなものだ」

Ex) You may as well throw your money away as lend it to him.  
 「あなたが彼にお金を貸すのは、捨てるようなものだ。」

● would の慣用表現

- would like to do 「~したい」

Ex) I would like to talk to you. 「あなたとお話がしたい。」

- would rather A than B  
 「B するよりむしろ A したい」

Ex) I would rather stay home than go out. 「私は外出するよりもむしろ家にいたい。」

ポイント③ 助動詞 + have p.p.

☆助動詞 have p.p.のCore☆

過去への気持ち【予想 / 後悔(イヤミ)】

《過去の予想》

- |                                     |                      |
|-------------------------------------|----------------------|
| • <u>may have p.p.</u>              | 「～ <b>した</b> かもしれない」 |
| Ex) He may have left the office.    | 「彼はオフィスを出たかもしれない。」   |
| • <u>must have p.p.</u>             | 「～ <b>した</b> に違いない」  |
| Ex) He must have left the office.   | 「彼はオフィスを出たに違いない。」    |
| • <u>cannot have p.p.</u>           | 「～ <b>した</b> はずがない」  |
| Ex) He cannot have left the office. | 「彼はオフィスを出たはずがない。」    |

《過去の後悔(イヤミ)》

- |                                     |                         |
|-------------------------------------|-------------------------|
| • <u>should(ought to) have p.p.</u> | 「～すべき <b>だったのに</b> 」    |
| Ex) He should have left the office. | 「彼はオフィスを出発すべきだったのに。」    |
| ※shouldn't have p.p.                | 「～すべきでは <b>なかったのに</b> 」 |
| • <u>need not have p.p.</u>         | 「～する必要は <b>なかったのに</b> 」 |
| Ex) He should have left the office. | 「彼はオフィスを出発する必要はなかったのに。」 |